

# 『オール北九州』で推進する空き家・留守宅対策事業(北九州空き家管理活用協議会)

課題と目的	北九州市で急増する空き家・留守宅(18,300戸)問題を、「オール北九州」で取組み安心・安全な居住環境づくり、更には「新しいまちづくり」を目的とする。
取組内容	①相談体制の整備&人材育成 ②セミナー&相談会を通して案件発掘 ③相談案件毎の「解決プロジェクトチーム」を編成し解決につなげる ④管理・活用の担い手(実働チーム)の拡大
成果	①地域の関連団体や市との連携しセミナー&相談会を22回実施18案件の発掘となる ②毎月の協議会で内部研修を8回実施し人材の育成・強化が出来た ③スキルアップのための「運用マニュアル」や解決プロジェクトチームの「提案書」等作成

